

研修会開催日程

全国9ヶ所で開催が予定されています。開催地をご確認のうえ、お申し込みください。
研修会ごとに申込先、締め切り及び申込フォームが異なりますのでご注意ください。

1-1. 鳥獣被害対策コーディネーター育成研修 前半（技術編）

開催地	シカ被害の進行度	日程	申込締切	申込・問い合わせ先
福島県 白河市	低	10月8日（火） ～10月11日（金）	10月1日（火）	株式会社野生動物保護管理事務所 TEL：042-649-3609 FAX：042-649-1386 Email：kenshu@wmo.co.jp 【担当：田中・渡邊】
北海道 苫小牧市	高	10月15日（火） ～10月18日（金）	10月8日（火）	特定非営利活動法人EnVision環境保全事務所 TEL：011-595-8022 FAX: 011-595-8022 Email：kensyu2024@env.gr.jp 【担当：中村】
宮崎県 都城市	高	11月11日（月） ～11月14日（木）	11月5日（火）	株式会社野生鳥獣対策連携センター岡山支社 TEL：086-995-2280 FAX：086-995-2289 Email：kensyu2024@cho-jyu.jp 【担当：渡邊・竹山】

1-2. 鳥獣被害対策コーディネーター育成研修 後半（計画・検証編）

開催地	日程	申込締切	申込・問い合わせ先
岡山県 岡山市	12月10日（火） ～12月12日（木）	12月3日（火）	株式会社野生鳥獣対策連携センター岡山支社 TEL：086-995-2280 FAX：086-995-2289 Email：kensyu2024@cho-jyu.jp 【担当：渡邊・竹山】
埼玉県 さいたま市	12月17日（火） ～12月19日（木）	12月10日（火）	株式会社野生鳥獣対策連携センター岡山支社 TEL：086-995-2280 FAX：086-995-2289 Email：kensyu2024@cho-jyu.jp 【担当：渡邊・竹山】
大阪府 大阪市	1月7日（火） ～1月9日（木）	12月27日（金）	株式会社野生鳥獣対策連携センター岡山支社 TEL：086-995-2280 FAX：086-995-2289 Email：kensyu2024@cho-jyu.jp 【担当：渡邊・竹山】
熊本県 熊本市	1月14日（火） ～1月16日（木）	1月7日（火）	株式会社野生鳥獣対策連携センター岡山支社 TEL：086-995-2280 FAX：086-995-2289 Email：kensyu2024@cho-jyu.jp 【担当：渡邊・竹山】

2. 地域リーダー（森林）育成研修

開催地	日程	申込締切	申込・問い合わせ先
大阪府 茨木市・箕面市	10月21日（月） ～10月23日（水）	10月15日（火）	株式会社野生鳥獣対策連携センター岡山支社 TEL：086-995-2280 FAX：086-995-2289 Email：kensyu2024@cho-jyu.jp 【担当：渡邊・竹山】
高知県 香美市・大豊町	10月30日（水） ～11月1日（金）	10月23日（水）	株式会社野生鳥獣対策連携センター岡山支社 TEL：086-995-2280 FAX：086-995-2289 Email：kensyu2024@cho-jyu.jp 【担当：渡邊・竹山】

定員

- 開催地ごとの定員は20名です。
- 定員になり次第、募集は終了させていただきます。

参加費用

- 無料
※会場までの交通費及び研修会中の宿泊費は、参加者負担です。

お申込み

- 所定の申込フォームに必要事項をご記入のうえ申し込みください。
- 各研修会の申込フォームは、株式会社野生鳥獣対策連携センターHPの「研修案内」タブ>「令和6年度鳥獣被害対策コーディネーター等育成研修」（<https://www.cho-jyu.jp/kensyu2024/index.html>）よりダウンロードできます。サイトへは右上のQRコードからもアクセスできます。
- 申込先は、各研修会ごとに異なります。詳しくは、上記HPをご覧ください。

特記事項

- 野外実習が含まれる研修会に参加される場合は、森林内で作業可能な服装（雨具を含む）をご準備下さい。
- コーディネーター育成研修は前半・後半いずれかの参加でも構いませんが、前半・後半の研修会両方の参加が望ましいです。
- 各研修会で実施される全科目を受講した参加者には 修了証を授与します。



農林水産省 令和6年度鳥獣被害対策基盤支援事業

鳥獣被害対策コーディネーター等育成研修 開催案内

参加費
無料

本研修では造林や森林経営のためのニホンジカの被害対策の知識や技術を実践的に学び現場の被害状況に応じて適切な調査や事業計画、評価ができるようになることを目指しています

開催地・カリキュラムについては内面をご覧ください

1. 鳥獣被害対策コーディネーター育成研修

【主な対象者】

都道府県担当職員、市町村担当職員、森林管理局職員
森林総合監理士、林業普及指導員、森林施業プランナー等

【研修内容】

事業発注者として、シカ対策の計画策定や事後評価をするまでの一連の手法を研修します
※本研修は造林地のシカ被害対策事業の計画立案や事後評価の方法を習得されたい方向への研修です
研修は、前半の技術編と後半の計画・検証編に分けて行います

1-1. 前半：技術編

- 野外実習を交えながら、調査手法及び防護手法、捕獲手法、防除計画策定といった、造林地におけるシカ被害対策の基本的な事柄及び、シカ被害対策に係る事業を設計し、実行する上で必要な事項を学びます
- 実習地には、シカ被害の進行度が高い地域と低い地域を用意しており、それぞれの状況に応じた対策の研修メニューを実施します
進行度の低い地域：防護柵なしで造林が行える地域における基本的な対策
進行度の高い地域：明らかな被害が確認できる環境における実践的な対策

1-2. 後半：計画・検証編

- 前半で学んだ考え方や調査結果に基づき、パソコンを使った室内演習を実施します
- 防護演習においてはシカの生息状況や対策の実施状況が成林に与える影響や結果および、防護にかかるコストなどを検討します
- 捕獲演習においては、設定された仮想地域において、事前調査や捕獲計画を立案し、その結果の評価方法、それをういた次年度以降の計画を立てる場合の検討ポイントを研修します
- これらの検討を通して、不確定要素が多い中での計画策定や事業の成果を検証する方法を学びます

2. 地域リーダー（森林）育成研修

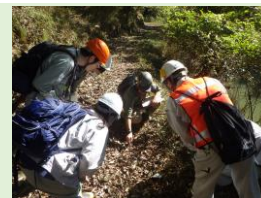
【主な対象者】

林業普及指導員、森林施業プランナー、市町村担当職員
森林組合職員、林業事業体職員、森林管理署職員、行政専門員等

【研修内容】

- 座学講習として、シカの被害状況や生息状況の現状把握のための実際の調査手法、防護の手法を中心に研修します
※本研修は、シカ被害対策事業において、現場作業の管理監督に必要な知識や技術を習得されたい方向への研修です
- 野外実習において、座学講習を踏まえた上で、シカの食痕からの被害状況の把握や防護柵の設置、くくりわなの設置を実際に体験することで、シカ被害対策事業の管理監督を適切に行えるようになることを目指します

※いずれの研修も主な対象者に記載以外の方も申し込み可能です



シカ被害確認実習

1. 鳥獣被害対策コーディネーター育成研修 カリキュラム

シカの生息状況や被害状況に応じた研修を行いますので、会場により一部研修内容が異なります
 福島会場：シカ被害の進行度が低い地域 北海道会場及び宮崎会場：シカ被害の進行度が高い地域

1-1. 前半：技術編

	テーマ	研修内容	
1日目	午後	ガイダンス	趣旨説明・講師紹介・自己紹介
		鳥獣対策の基本的な考え方	近年のシカによる森林被害や傾向・森林育成等のシカ被害対策の考え方
	午後	現状把握手法と目標設定・事業計画	シカの生息状況や被害状況を把握する手法 被害管理の目標設定や事業計画立案の考え方
		業務管理と作業の記録	アプリを用いた業務管理や業務の記録
2日目	午前	【野外実習】 生息状況調査 自然植生への被害調査	シカの生息状況や被害の現状を把握するための手法として 植生衰退度調査・食痕履歴法・痕跡確認方法・センサーカメラ設置による方法などを紹介
	午後	【野外実習】 被害確認 植生防護の柵点検	福島会場(シカ被害進行度：低) 実際に柵を設置する実習を行い、柵資材や設置方法の種類とその特徴、設置や管理・点検における注意点を解説 北海道会場・宮崎会場(シカ被害進行度：高) 設置されている植生防護柵や食害を確認し、被害程度の把握方法や記録の考え方について解説
3日目	午前	防護による鳥獣被害対策	福島会場(シカ被害進行度：低) 比較的シカが低密度な状況下での痕跡調査や、植栽木の基本的な防護手法について解説 北海道会場・宮崎会場(シカ被害進行度：高) 明らかな食害や柵破損を確認し、被害程度に応じた対策選択の考え方について解説
		銃器による捕獲手法	銃器による捕獲の特性や安全管理 流し猟・しのび猟・巻狩などの各手法について解説
	午後	【野外実習】 捕獲野外実習	銃による捕獲について 獲物の探索方法、待場選定、安全な射撃などについて現場で解説 わなによる捕獲について 痕跡確認によるわな設置適否の判断方法を解説・林内にてくくりわなの設置方法を実習
4日目	午前	わなによる捕獲手法	箱わな・囲いわな・くくりわなによる捕獲手順や、安全管理について解説
		計画から評価 習熟度確認、修了証授与	主に捕獲事業について、事業の発注準備から事業評価までのポイントを解説 習熟度確認を実施後、修了証の授与

1-2. 後半：計画・検証編

1日目	午後	ガイダンス	趣旨説明、講師紹介、自己紹介
		防護計画の立案と検証の手法	目標林型の達成の可否や、必要な防護手段を検討するために必要な 情報整理 と、 分析の手法 を解説
		防護計画策定演習 (情報整理、予測)	仮想地域における被害状況から、植林木の成長や防護のコスト等を検討する演習
2日目	午前	防護計画策定演習 (計画立案、事業検証)	1日目に実施した検討結果をもとに、 経営判断 や 計画立案 、 事業検証 を行う演習
	午後	捕獲計画の立案と検証の手法 捕獲計画策定実習 (調査、計画立案)	効率的・計画的な捕獲事業に必要となる、 捕獲の適切な時期・場所・手法 を選択するための 情報整理 や 分析 の手法を解説 仮想地域における捕獲事業の計画を通して、捕獲実施前の 事前調査計画 の立案から、調査結果を受けての 捕獲計画の立案を検討する演習
3日目	午前	捕獲計画策定実習 (捕獲実施と成果の検証)	仮想地域における、捕獲計画に基づいて実施した成果を検証し、次の捕獲事業を検討する実習 不確定要素の多い捕獲事業の進め方について、理解を深める
		習熟度確認、修了証授与	習熟度確認を実施後、修了証の授与

2. 地域リーダー（森林）育成研修 カリキュラム

	テーマ	研修内容	
1日目	午後	ガイダンス	趣旨説明・講師紹介・自己紹介
		鳥獣対策の基本的な考え方と現状把握の方法	近年のシカによる森林被害の発生状況や傾向、森林育成や経営への影響など、シカ被害対策の考え方や被害状況を把握するための手法を解説
		防護による鳥獣被害対策	植栽木を防護する手法、防護柵の種類や特徴、設置や管理における注意点など、防護の考え方を解説
2日目	午前	【野外実習】 被害確認・防護柵の点検	植栽木における被害状況を確認 防護柵を点検する上でのポイントを解説
		【野外実習】 植生防護柵の設置	設置されている植生防護柵を見学し、柵資材や設置方法の種類とその特徴、設置や管理における注意点を解説 実際に柵を設置する実習の実施
	午後	【野外実習】 現状把握のための野外実習 【野外実習】 わな設置実習	シカの生息状況や被害の現状を把握するための手法として 植生衰退度調査・食痕履歴法・痕跡確認方法・センサーカメラ設置による方法などを紹介 痕跡確認によるわな設置適否の判断方法を解説 林内にてくくりわなの設置方法を実習
3日目	午前	わなによる捕獲のポイント 習熟度確認、修了証授与	箱わな・囲いわな・くくりわなによる捕獲手順や、安全管理における注意点を解説 習熟度確認を実施後、修了証の授与

コーディネーター研修の様子



模擬銃を用いた銃捕獲実習



被害確認実習



計画策定演習



柵点検実習

リーダー研修の様子



座学講習



くくりわなの設置実習



被害確認実習



防護柵の設置実習

研修会カリキュラムや事業全体に関する問い合わせ

株式会社野生鳥獣対策連携センター岡山支社 担当者 渡邊・竹山・中村
 TEL：086-995-2280 FAX：086-995-2289 Email：kensyu2024@cho-jyu.jp

主催 株式会社野生鳥獣対策連携センター

<https://www.cho-jyu.jp/kensyu2024/index.html>

兵庫県丹波市青垣町佐治94番地-2

TEL：0795-78-9799 FAX：0795-78-9769

